

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	令和8年度第1回市史編さん委員会
開 催 日 時	令和8年7月17日（金）午前10時00分～11時15分
開 催 場 所	伊勢崎市図書館2階集会室
出 席 者 氏 名	(委員) 三好委員長、二上副委員長、相川委員、青木委員、 桜井委員、宮崎委員、前澤委員、佐塚委員、木暮委員、 永島委員、田部井委員、小林委員 (オブザーバー) 出浦文化財保護課長 (事務局) 高橋教育副部長、町田図書館課長、佐藤奉仕係長、 勢藤市史編さん室長、和久市史編さん室主幹、 五十嵐市史編さん室主任
傍 聴 人 数	0人（公開）
会 議 の 議 題	(1) 令和7年度の活動報告 (2) 令和8年度の活動予定について (3) 令和8年度発刊の刊行物について (4) 刊行計画の見直しについて
会 議 資 料 の 内 容	(1) 令和7年度の活動報告 (2) 令和8年度の活動予定について (3) 令和8年度発刊の刊行物について (4) 刊行計画の見直しについて
会 議 に お け る 議 事 の 経 過 及 び 発 言 の 要 旨	1. 開会 2. 報告 ●令和7年度の活動報告について 資料に基づき、事務局より令和7年度における市史編さんの活動報告を行った。 (質 疑) 委員 市史編さん室で活動されているボランティアの方や、シンポジウムに参加した学生はどのように募ったのか。 事務局 ボランティアの方は図書館応援団の郷土資料協力隊の方に声をかけた。シンポジウムに参加した学生は、部会で現職の教員をされている方から学生に声をかけてもらった。 委員 特別編『伊勢崎のハニワ』が発刊されたことで、伊勢崎市の重要な埴輪について周知されるのではないかと思います。 シンポジウム等への学生参加が伊勢崎市史の特徴であるが、その外に仏像調査が早い段階で行われていることも特徴の一つではないか。 3. 協議 ●令和8年度の活動予定について 資料に基づき、事務局より令和8年度における市史編さんの活動予定について説明を行った。

	(質 疑) 委員 事務局が進めている、全国有数の蚕種農家であった小林家の調査について、建物や資料は今後どうなるのか。 事務局 建物については未定である。資料については写真撮影や記録作業を進めており、もう少しで整理作業が一通り終了する。 委員 資料の中には古い写真もあるが、そういったものは今後の市史編さん事業の中で活用できるのか。 事務局 協力してもらうことについて、同意をいただいている。 委員 東地区の調査について、具体的にどの地域を対象にしているのか。また、前回行った調査の補足調査のようなものであるのか。 事務局 補足ではなく新たに調査を行っており、戦後についての話を中心に聞き取りを行っている。調査対象は、東地区の全行政区である。 令和8年度の活動予定については、事務局案のとおり承認された。 ●令和8年度発刊の刊行物について 資料に基づき、事務局より令和8年度発刊の刊行物についてについて説明を行った。 (質 疑) 委員 「享和以来新聞記」について、「しんもんき」という読み方があるのか。また、第4回のシンポジウムでは小栗上野介について扱うが、小栗事件については「享和以来新聞記」のどこに掲載されるのか。 事務局 読み方については、今後部会の中で確認をする。小栗事件については、第2集に収録される。 令和8年度発刊の刊行物については、事務局案のとおり承認された。 ●刊行計画の見直しについて 資料に基づき、事務局より刊行計画の見直しについて説明を行った。 (質 疑) 委員 別巻の風説留については、原稿作成の見通しが立っていることから、連続しての刊行となった。 委員 刊行予算について、議会の承認はどの程度得ているか。 事務局 予算については年度毎に要望をする。今年度より刊行予算については国の補助事業として行う予定である。 刊行計画の見直しについては、事務局案のとおり承認された。 3. 閉会 次回は令和9年3月に開催予定。
--	---